

## 町指定天然記念物ニホンアカガエル

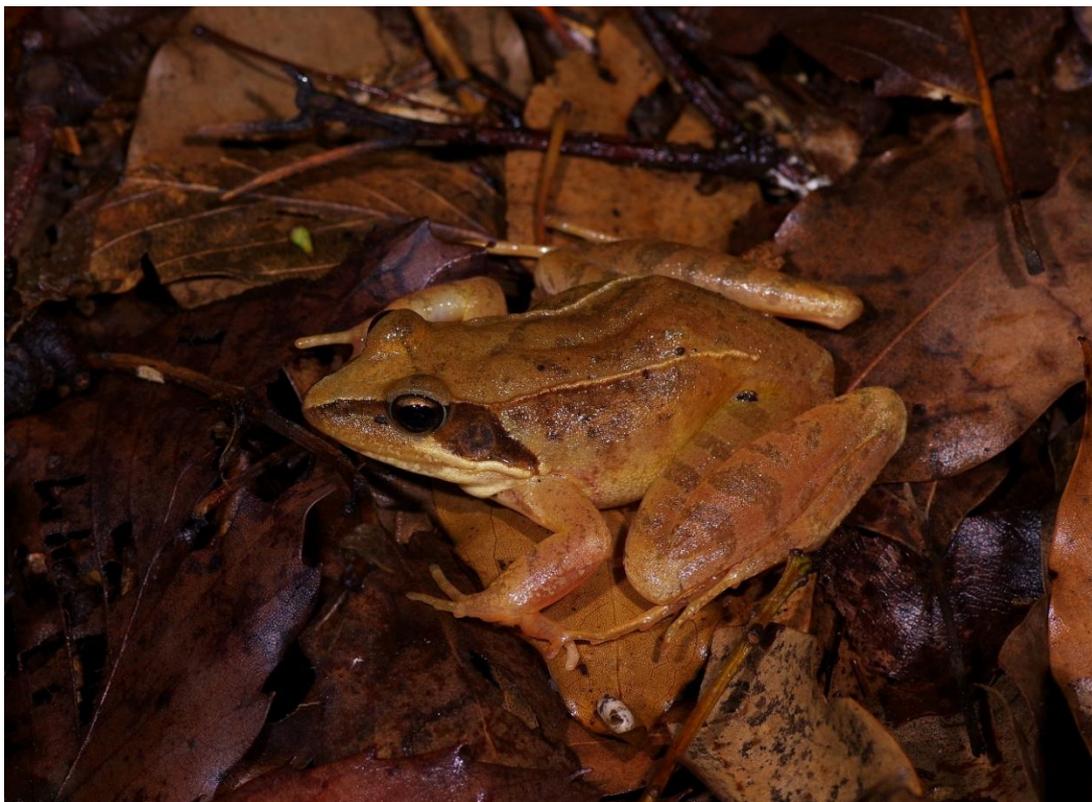
ニホンアカガエル

*Rana japonica* Boulenger, 1879

ニホンアカガエルはアカガエル科アカガエル属の日本固有種です。成体はオスで体長3～6 cm、メスで体長4～7 cm、体色は褐色や赤褐色で、鼓膜の周りが黒褐色になるのが特徴です。幼生（オタマジャクシ）の背面には普通、1対の黒斑があります。平地から丘陵地の水田や湿地の周辺に生息します。県内での繁殖期は1～3月で、水田、湿地、池などに20cm程のやや平たい球状の卵塊を産みます。幼生は5～6月ごろに上陸します。

紀美野町ではよく似たヤマアカガエルやタゴガエルも見られますが、鼻先が尖り、鼓膜の後ろの背側線が直線的なところから見分けることができます。

日本固有種で本州、四国、九州と周辺の離島に分布します。和歌山県では紀北から紀中で見られますが非常に少なく、紀南では近年の記録がありません。紀美野町の生息地も大変貴重な場所の一つです。紀美野町周辺では海南市、紀の川市、有田川町にも分布します。



ニホンアカガエル成体



ニホンアカガエル雌成体



ニホンアカガエル抱接



卵塊